

USER MANUAL

BigSky

日本語ユーザーマニュアル Ver.1.1

strymon®

フロントパネル

VALUE (バリュー)

画面にタイムが表示されている時にこのノブを回すと、ディケイ・タイムの微調整が行なえます。

画面にバンクか名前が表示されている時は、プリセットの変更が行なえます。

1回押すと、プレイ中のリバーブ・マシーンのパラメーター設定メニューに入ります。長押しするとグローバル設定メニューに入ります。

DECAY (ディケイ)

リバーブのディケイタイム（残響の減衰時間）を調整します。

設定可能な範囲は、選択したリバーブ・マシーンによって変わります。

PRE-DELAY (プリ・ディレイ)

ドライ信号とリバーブ音が鳴り始めるまでの時間を0~1.5秒の間で調節します。

NONLINEAR、MAGNETO使用時には、このコントロールはフィードバック量を調整します。

MIX (ミックス)

ドライ信号とウェット信号（エフェクト）のバランスを調整します。

最小でドライ100%、最大でウェット100%に設定できます。

3時の位置で1:1のミックスが得られます。

TYPE (タイプ)

リバーブ・マシーンのタイプを選択します。

このコントロール・トグルを押してBANKとBPM表示を切り替えます。
また、長押しするとプリセットがセーブできます。

TONE (トーン)

リバーブの高域を調整します。

低い設定ではダークで温かいサウンドになり、高い設定では明るく歯切れの良いサウンドになります。

12時の位置で、バランスの取れたサウンドが得られます。

A,B,C LED

緑色: エフェクトON

オレンジ色: プリセットのエディット途中
消灯: エフェクト・バイパス



A,B,C フットスイッチ

プリセットのエフェクト・オン/オフを行います。
長押しでリバーブをホールドすることができます。

※ Infinite Sustine/FreezeがPARAMETERより選択可能

【BANKの移動】

フットスイッチAとBを同時に押すと、低いバンクへ移動します。
フットスイッチBとCを同時に押すと、高いバンクへ移動します。

MOD (モジュレーション)

リバーブにモジュレーションを加えます。

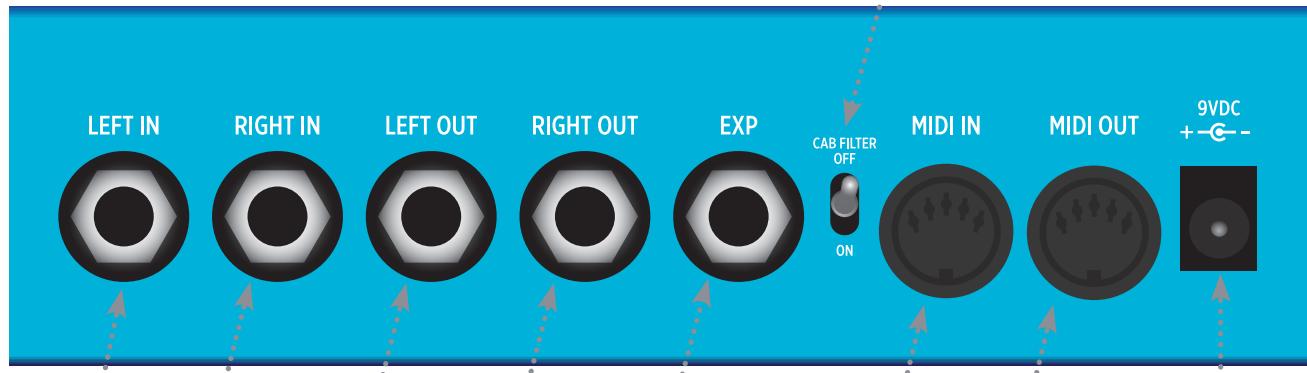
低い設定ではリバーブ中の時系列の揺れが少なく、静寂で自然な効果が得られます。高い設定では、深い揺れのリバーブサウンドが得られます。

PARAM 1 & 2 (パラメーター1,2)

プレイ中のリバーブ・マシーンのパラメーターを1つ割り当てることができます。

メニュー画面からVALUEエンコーダーで割当たいパラメーターを選択し、VALUEを長押しながらPARAMエンコーダーを回してください。

リアパネル



INPUTS (入力)
ハイ・インピーダンスの入力端子です。モノラル接続する時は「LEFT IN」(左) 端子をご使用ください。

OUTPUTS (出力)
モノラル接続する時は「LEFT OUT」(左) 端子をご使用ください。

EXP (エクスプレッション)
エクスプレッション・ペダルを接続します。詳しくはEXP接続の項目をご参照ください。

CAB FILTER (キャビネット・フィルター) スイッチ

オンになると、ギターキャビネット(スピーカー)を通した時のような特性が得られます。詳しくはCabFilterの項目を参照ください。



MIDI (ミディ)
MIDI 入出力端子です。
MIDI コンティニュアス・コントロール(CC)、プログラム・チェンジ等に対応しています。
詳しくはMIDIの項目をご参照ください。

POWER (電源)
9V以上の電源は絶対に接続しないでください。
9VDC / 300mA 以上の電流容量を備えたDC電源が必要です。

PARM 1 / PARM 2 の使用方法

PARM1およびPARM2は、プレイ中もmodマシーンのコントロールを1つアサインして、コンティニュアス・コントロール(CC)することができます。

例) : CloudのDIFUSN (diffusion／デフュージョン) をPARM1にアサインすると、PARM1コントロールを回してリバーブの広がり具合をリアルタイムにコントロールできます。

パラメーターの設定方法

1. アサインしたいパラメーター画面を開きます。



2. VALUEを長押したまま、PARM1（またはPARM2）を回します。

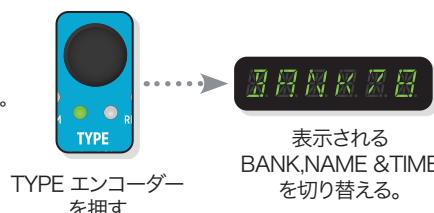


3. バリューエンコーダーをホールドしながら、PARAM1 & PARAM2にパラメーターをアサインします。



リバーブタイムとディスプレイ

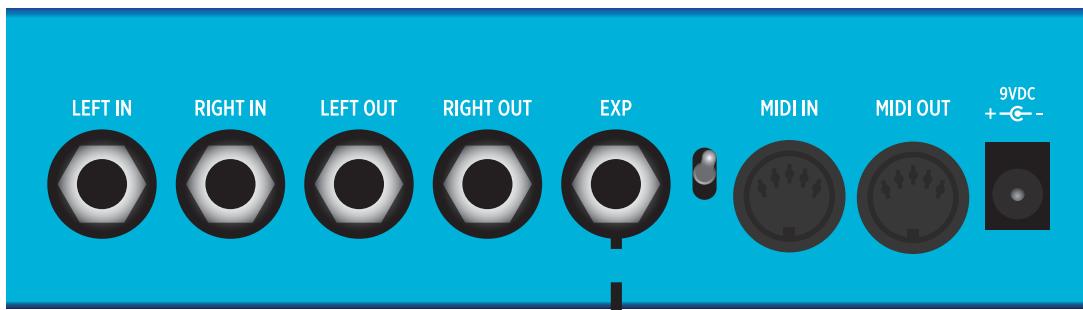
ディスプレイに表示されるディケイ（残響）時間はRT60ベースの値です。
これはリバーブ信号が-60dB (1/1000th) に減衰するまでの時間を示します。



Hall, Plate, Swell, Bloom, Chorale, Shimmer
Spring
Cloud
Magneto
Nonlinear
Relections
Room

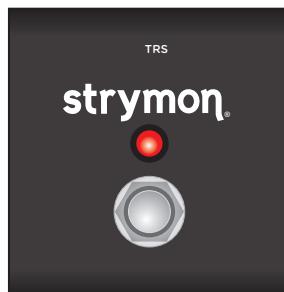
500 mSec～+20.00Sec
800 mSec～10.00 Sec
1.00 Sec～+50.00 Sec
200 mSec～1.50 m Sec
50 mSec～ 2.00 Sec
133 mSec～400 m Sec
200 mSec～+20.00 Sec

EXP - エクスプレッション・ペダルの使用



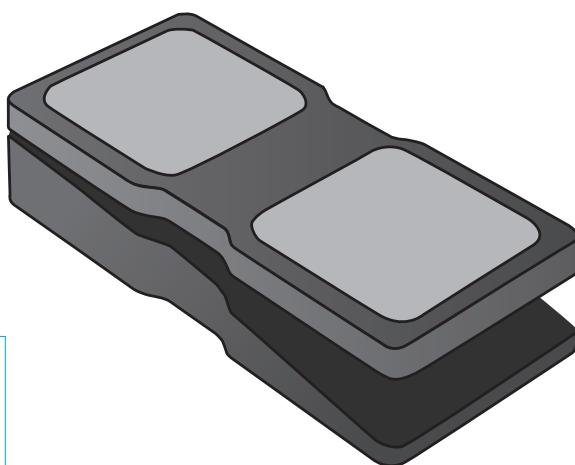
Strymon MiniSwitch を接続してPre-Delay (MagnetoとNonlinearではディケイタイム) のリモートコントロールできます。

TRSケーブルで外部スイッチと接続します。外部からのタップ入力には、EXP MDグローバルセッティングでTAPにセットします。



標準のTRSエクスプレッションペダルを接続して、任意のノブを連続的にペダルからコントロールできます。エクスプレッションペダルでコントロールするノブを選択するには、各プリセットのEP SETパラメーターを使用します。

すべてのノブは同時にコントロールできます。設定手順については、共通パラメータを参照してください。



Strymon MultiSwitchを接続すると、外部タップ、バンク、またはプリセットが選択できます。

EXP MD グローバルの設定をTAP、BANK、またはPRESETに設定します。

詳細なセットアップ方法については、MultiSwitchのユーザーマニュアルを参照してください。



バンク&プリセット

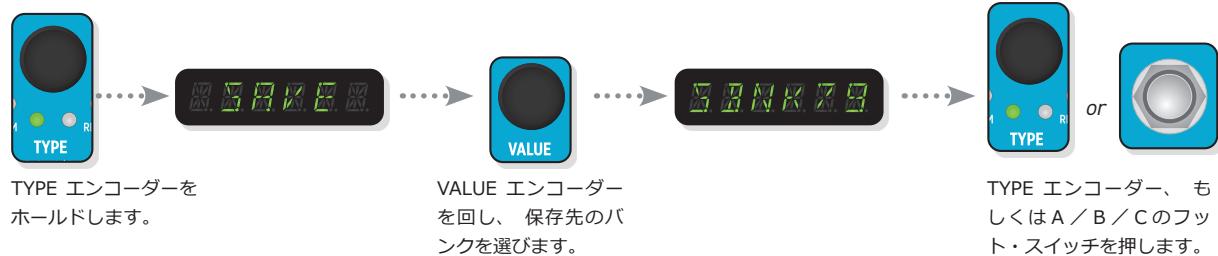
本機には、00～99の100 バンクあり、それぞれにA、B、C プリセットが含まれます（合計300）。バンクはディスプレイに、00から99まで表示されます。
注）工場出荷時には最初の100プリセット（00A～33A）が用意されています。 33B～66Bと66C～99Cにも同じプリセットがメモリーされています。

プリセットの保存

【使用中のプリセットに上書き保存する】



【別のプリセット番号に保存する】

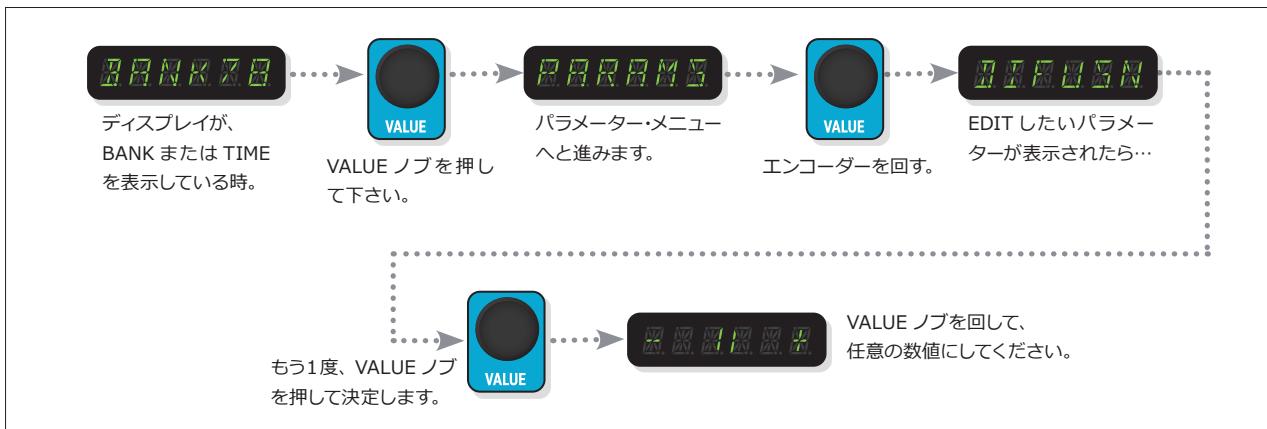


ファクトリー・プリセットを復元する

注）この手順を行うと本機に保存したカスタム・プリセットは全て消去され、工場出荷時の状態が復元されます。



パラメーターの編集



共通パラメーター

PARAMS

全てのリバーブ・マシンには、共通のパラメーターがいくつかあります。以下のパラメーターはプリセット毎に保存されます。



BOOST (ブースト)

+/- 3dB の信号レベルのブースト/カットがプリセット毎に設定できます。エフェクターを複数接続している場合の音量マッチングの他、ソロ演奏時のブーストとしても使用できます。



PRST (プレジスト)

バイパスへ切り替えた後もリバーブ音が鳴り続ける設定です。

この設定が ON の時、バイパスモードは自動的にアナログ・バイパスに切り替わります。



HOLD (ホールド)

使用中のプリセットスイッチを長押しした時、Infinite Sustain 又は Freeze にエフェクト・サウンドをホールドすることができます。

- Infinite Sustain : 新たに弾いた音もリバーブ音に追加されます。
- Freeze : 新たに弾いた音は、リバーブ音には追加されません。

各設定はプリセット毎に指定できます。



NAME (ネーム)

プリセットに最大 16 文字までの名前を付けることができます。TYPE エンコーダーを用いて文字を選択します。VALUE エンコーダーでアルファベットを選択します。

VALUE エンコーダーをクリックすると、名前の入力画面が終了します。変更後の設定を保存する時は TYPE エンコーダーを長押しします。

注) :プリセット名の表示には、global 設定の「NAMES」で、「ON」又は「SCROLL」の選択が必要です。



EP (Expression Pedal ON/OFF)

各プリセットでのエクスプレッション・ペダル・インプット ON/OFF を設定します。



EP SET (Expression Pedal Set)

各プリセットのエクスプレッション・ペダルの設定を行います。全てのコントロール・ノブは、エクスプレッション・ペダルでリモート操作が可能です。エクスプレッション・ペダルで、どのノブを操作するかを設定する時には、Value エンコーダーを押し "EP SET" と表示された後、"HEEL" と表示されます。かかとを下げる状態での設定値をノブを回してセットします。その後、Value エンコーダーを右に回して "TOE" と表示を変えて、つま先を踏み込んだ状態の設定値を同じように行います。エクスプレッション・ペダルは、セットした全てのノブを同時にコントロールすることができます。



MIDI Clock ON/OFF

ON に設定すると、BigSky は MIDI 入力へ入力される外部 MIDI クロックに追従します。

MAGNETO と NONLINEAR の両アルゴリズム（リバーブ マシン）を除くすべてのリバーブ マシンで PRE-DELAY が制御されます。MAGNETO と NONLINEAR では、DECAY タイムをコントロールします。このパラメーターは、ON に設定されているプリセットのみに保存され、外部クロックに反応します。

各リバーブマシーンを使用する : ROOM (ルーム)

ROOM

最も用途が多いリバーブタイプの一つです。このアルゴリズムは、しっかり音響調整されたスタジオのアンビエンスから大きなナイトクラブまで、幅広いルームタイプのリバーブを生み出します。Tone、Diffusion、Low Endのコントロールで、部屋の壁素材や障害物によるリバーブの減衰や広がりを調整します。

パラメーター

Low End (ロー・エンド)

このパラメーターは、低域の成分と減衰の仕方に影響を与えます。

表示の+側に移動すると残響時間が長く感じられ、障害物が少ない部屋のリバーブになります。



Size (サイズ)

設定によって初期反射と減衰の仕方が大きく変化します。

- **Studio**: しっかり音響調整されたレコーディングスタジオのアンビエンス。
- **Club**: クラブへよりライブな大きいナイトクラブ。



Diffusion (ディフュージョン)

初期反射を和らげ、より厚みがあり密度の高いリバーブを作り出します。

入力信号や特定の設定によっては、聴こえるというよりは「感じる」と表現した方が正しいかもしれません。



ヒント

現実の空間を再現する場合は、Pre-Delay を最小に設定し、Decay 値を 500mS から 2 sec の範囲に設定します。ただし、Room アルゴリズムでは、長い減衰時間でも自然なリバーブ感を損なわないように設計されています。浮遊感のある雰囲気のリバーブを得るには、正午に Pre-Delay、12 sec 以上の Decay、1:00 の Mod を試してください。Mix は好みに合わせましょう。

Mod コントロールはランダムにリバーブの遅れ時間を変化（変調）させます。ノブ設定に於いては、前半の半分では微妙な落ち着いた変化ですが、後半ではリバーブタンクの入力に更なる変調を加えて、より明白でありながら上品な搖らぎを実現します。

各リバーブマシーンを使用する：HALL（ホール）

HALL

自然に広がる音の反射とゆっくり重ねられてゆく音は、美しく汎用性が高いリバーブの代表的なエフェクトです。

‘Concert size’の設定でのリバーブ・サウンドは、バランスが良く、温かさと広がりを備えています。

‘Arena size’設定は、非常に大きく、低域豊かで包み込むような響きが特徴です。

パラメーター

Low End (ロー・エンド)

このパラメーターは、低域の成分と減衰の仕方に影響を与えます。表示の+側に移動すると低い周波数帯により深いリバーブが得られます。低域が吸い込まれる要素が少ない建物の感じが表現されます。



+

-

Mid (ミッド)

リバーブの中間周波数帯域を調整します。

表示の+側に移動すると中域が強調され、-側に移動すると中域が低下します。中間がフラットです。



+

-

Size (サイズ)

初期反射の立ち上がり方と、遅れて始まるリバーブの減衰を調整してください。

- **Concert:** しっかり音響調整されたコンサート・ホールのバランスの取れた温かみあるサウンドです。
- **Arena:** 周囲を囲まれた大会場のサウンドです。



CONCERT
ARENA

ヒント

Pre-Delay を上げると建物の大きさが増し、ドライ信号とリバーブ信号の再生される時間が開きます。

バランスの取れた、汎用性の高いホール・サウンドは、Concert モードで Decay を 3.5sec 程度、Tone を 12 時 & Lo End をセンターに設定してください。Mod を 12 時方向にセットするとランダムなディレイのモジュレーション効果が大きくなり、それを超えると音に温かみが増します。

巨大建造物のリアルなリバーブには、Arena モードで Decay を 10 秒以上に設定し、Lo End を上げてください。Mix は 12 時方向以下に設定してください。

Mod コントロールは、最小設定から 12 時方向ではリバーブの元になるディレイタイムをランダムにモジュレートするので、ナチュラルな効果が得られます。12 時方向から最大設定ではリバーブ・タンクの入力にモジュレーションをかけ、より深い味わいのある搖れが体感できます。

各リバーブマシーンを使用する：PLATE（プレート）

PLATE

プレートは初期反射音が無く、立ち上がりが早く深みのあるリバーブが特徴です。
様々な楽器やボーカル、パーカッションなどと相性が良く、音景に深みを増すことができます。
ToneコントロールとLow Endのパラメーターは使いやすく、周波数調整を確実にサポートします。

パラメーター

Low End (ロー・エンド)

このパラメーターは、プレート・リバーブの低域を調整します。
低い設定値では明るく空気感のあるサウンドになり、ドライ信号に影響を与えません。
高い設定値ではリッチなプレート・リバーブのサウンドが得られます。



Size (サイズ)

2種類のプレートサイズが選択できます。

- **Small**: 家庭用 $1\frac{1}{2} \times 2\frac{1}{4}$ フィート小型プレート
- **Large**: スタジオ用4x 6フィートの大型プレート



ヒント

大型プレートの抑制されていないリバーブ減衰時間は約 5 secです。プレートの近くには大きなバッフル板が設置されており、短いリバーブが必要なときにはプレートの振動を抑制します。

1.5sec 程度の短いディケイと少なめのエフェクト Mix で、ドライ信号にアンビエントを加える事ができます。長いディケイタイムは、物理的リミットを飛び越えたリバーブになり、クリアーナリバーブのアンビエント・パッドを作り出す事ができます。

本物のプレート・リバーブは、直後に EQ を接続して使用されていました。そして、低域を調整してミックスに馴染みやすくし、余計な高域の「鳴り」を取り除いていました。 本機は幅広いレンジの Low End のパラメーターが音色を大きく変化できると同時に、どの設定でも Tone はフル帯域再生（最大）から温かくダークなサウンド（最小）までをコントロールします。

LARGE プレートは豪華でスムーズ、そして透明感あるリバーブがトラックや楽器のサウンドを格上げします。SMALL プレートは、低域が少なく鳴りの強いリバーブが、派手目のサウンドにマッチします。

Mod はリバーブの元になるディレイタイムを特別な LFO でモジュレートして、余計な鳴りが無い華麗なサウンドを生み出します

各リバーブマシーンを使用する : SPRING (スプリング)

SPRING

スタンドアローン型のスプリング・タンクで作られるリバーブは、60年代のサーフ・ミュージックやマカロニ・ウェスタン・ミュージックの定番サウンドとなりました。Tone、Mix、Dwellのコントロールによって、温かくメロウなサウンドから、跳ねるようなサウンドまで自在に作り出す事が出来ます。

パラメーター

Low End (ロー・エンド)

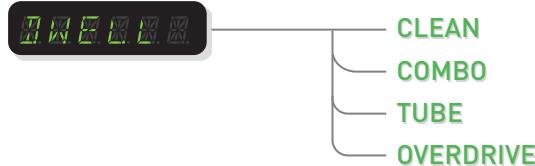
スプリング・タンクの低域を調整します。設定値が高いほど、低域が強いサウンドになります。



Dwell (ドゥエル)

スプリング・タンクに内蔵されたプリアンプ回路のドライブ量を調整します。

- **Clean**を選べば、最もクリーンなスプリング・サウンドが得られます。
- **Combo**ではスプリング・リバーブが内蔵されたコンボ・アンプのように高いゲインのサウンドに変わります。
- **Tube**では、アウトボードのスプリング・リバーブのDwellコントロールを上げた時のようにゲインが増幅され、スプリング・タンクに入力されるハーモニクスが増えます。
- **Overdrive**ではプリアンプのゲインが最大になり、最も汚れたサウンドになります。



Number of Springs (スプリング数)

スプリング・タンク中のスプリング数を1~3本の間で選択することができます。

スプリング毎のディレイ・タイムが異なるため、スプリング数が増えるとサウンドも複雑になります。



ヒント

コンボ・アンプに搭載された伝統的なスプリング・リバーブ・サウンドの作り方:スプリング数は2本、DwellはCombo、Decayは4.5sec前後に設定してください。コンボ・アンプのリバーブトーンはダークなサウンドが多いため、Toneの設定値を下げて高域をメロウにし、Low Endのパラメーターも低く設定し低域を抑えると良いでしょう。

エレガントなスプリング・リバーブ・サウンドの作り方:スプリング数は3本、DwellはClean、Decayは3sec前後に設定してください。Low Endのパラメーターは半分程度に抑え、Toneでお好みの味付けをします。

サウンドを派手にしたい場合は、Toneを最大に、Low Endを最小に設定してください。勇気をもってMixを3時方向まで上げてみましょう。

大きな入力信号は、スプリングを強くドライブします。歪みが大きいと感じたら、Dwell設定で調整してください。

多くのスプリング・リバーブの実回路は、スプリングの轟音やフィードバックを避けるために低域を大きくカットします。同様の設定はLow Endパラメーターが半分以下の設定です。DwellでCleanやComboを選択し、低いミックスレベルでLow Endを上げるとサウンドが豊かになります。

各リバーブマシーンを使用する : SWELL (スウェル)

SWELL

Swellは、エフェクト音だけをボリューム・ペダルで操作しているように緩やかに上昇させる事ができます。逆に、ドライ音がリバーブに緩やかにミックスされてゆくように設定する事も可能です。

パラメーター

Low End (ロー・エンド)

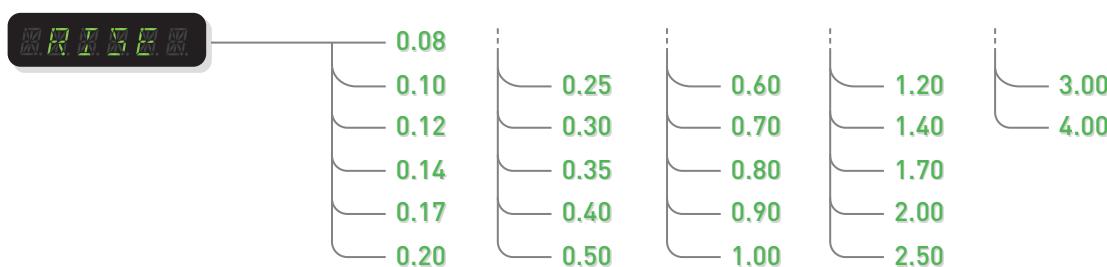
リバーブの低域を調整します。設定値が高いほど、低域が強いリバーブが得られます。



Rise Time (ライズ・タイム)

スウェル信号が始まるタイムを設定します。

単音ソロは短く設定し、コード演奏には長いタイム設定をお勧めします。



Mode (モード)

- **Swell Wet:** ドライ信号の背景でウェット信号が緩やかに上昇します。薄く広がるリバーブ効果を得るのに最適です。
- **Swell Dry:** リバーブ信号が鳴る前にドライ信号が緩やかに上昇します。アンビエンスやソロに最適です。



ヒント

Swell Dry モードで Rise 設定を 0.3sec 以下設定すると、ボリューム奏法のような効果が得られます。

長くアンビエント効果を狙ったコード演奏には、Swell Dry モードで Rise 設定を 1sec 以上、Decay を 10sec 以上に設定し、モジュレーションを高めにすると良いでしょう。

Swell Wet モードで、Rise 設定を 0.10sec 前後になると、ドライ信号と上手くマッチしたリバーブ効果が得られます。

Mod コントロールは、リバーブのディレイ・ラインに 4 層のモジュレーションを加え、リバーブ信号に深みと動きを与えます

各リバーブマシーンを使用する：BLOOM（ブルーム）

BLOOM

90年代、よりスムーズに減衰してゆくサウンドが得られるように、拡散（ディフュージョン）ブロックが追加されました。その副作用としてリバーブが出来上がってゆくエンベロープが遅い傾向があります。それは、ゆっくりとビッグなアンビエント・サウンドが ‘blooms’という名のごとく、花が咲くように広がってゆきます。リバーブが高いミックスでも自然とドライ音と馴染みます。

パラメーター

Low End (ロー・エンド)

リバーブの低域を調整します。設定値が高いほど、低域が強いリバーブが得られます。



Length (レングス／長さ)

リバーブが広がりきるまでの速度を調整します。高い設定では広がりきるまでの時間が長くなります。



Feedback (フィードバック)

ブルームが始まる迄のフィードバック量を調整します。



ヒント

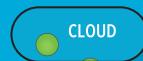
Decay は、リバーブ・タンク内のリバーブが減衰する時間をコントロールします。それに対し、Length のパラメーターはリバーブが広がりきるまでの時間をコントロールします。Length もしくは Feedback (または両方) を長く設定すると、ディスプレイに表示されている減衰時間 (Decay の設定値) よりも長いリバーブ効果が得られます。

Mod コントロールは独立した 2 つの 16 層オシレーター（合計 32 段階）をコントロールします。はじめの 16 層はブルーム効果を作り出すディレイ・ラインにモジュレーションを加え、後の 16 層はリバーブ・タンクのディレイ・ラインにモジュレーションを加えます。その結果、崇高かつビッグで美しい効果が得られます。

Tone コントロールは、独自のレゾナンス・フィルターにより高域を変化させ、シンセのようなサウンドを作り出します。減衰時間の長いリバーブで Tone の設定値を調整し、試してみてください。

高い Feedback 設定と高い Modulation 設定を組み合わせると、ゴージャスで周波数をスイープしながら鳴り響くハーモニクスが得られます。

各リバーブマシーンを使用する : CLOUD (クラウド)



70年代後半に開発されたゴージャスでビッグなアンビエント・リバーブです。
当時では考えられなかった現在の進化した処理能力により、リアリティーと空想の狭間を音で表現できます。

パラメーター

Low End (ロー・エンド)

クラウド・リバーブの低域を調整します。設定値が高いほど、低域の要素が多く含まれたサウンドになります。



Diffusion (拡散)

リバーブの前とリバーブのサウンドに拡散成分を追加します。

最小設定では効果はゼロになり「粒子の荒い」リバーブ・サウンドになります。

トランジエント信号には魅了される効果が得られます。

設定値を上げると、よりスムーズで柔らかいリバーブ・サウンドになります。



ヒント

カスケード接続された拡散ブロックが、リバーブの初期部を拡張します。これにより、ディスプレイに表示されているディケイタイムよりも長いリバーブ・タイムを作り出します。Decay が低く設定されている時に、よりこの効果を強く感じられるでしょう。

Modulation は、最小から 2 時方向の設定では、入力部の拡散装置のモジュレーション量を調整します。このモジュレーションは、Cloud ジェネレーターに方形オシレーターからの心地よい揺れが加えられます。2 時方向から最大の設定では方形オシレーターの周波数が高くなります。

このモジュレーションのしくみは、長く伸びるリバーブを最後まで濁らせないために開発されました。

Cloud リバーブは、地味なギターやシンセのサウンドでも、ゴージャスなアンサンブル・サウンドに変えることができます。

各リバーブマシーンを使用する : CHORALE (コラール)

CHORALE

クワイアーガバッケグランドで唄っている様なリバーブを奏でます。

母音のレンジの強さを設定して、Decayコントロール・ノブで響きを調整します。

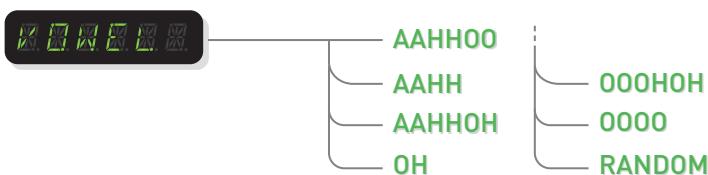
Modulationパラメーターを上げると、様々な声が入り混じった、より生き生きとしたサウンドになります。

パラメーター

Vowel (母音)

クワイアーグの唄う母音を選択します。

一般的な音声であるAH、OH、OOと、これらの組み合わせから選択できます。また、これらがランダム (RANDOM) に選択される設定も用意されています。



Resonance (レゾナンス)

発音の強さを、フィルターのレゾナンス (Q) を変化させて調整します。

Mildでは落ち着いた効果のボーカル、Mediumでは発音のやや強いボーカルになります。

Highでは母音の発音が最も強く、お化けの出そうなおどろおどろしい雰囲気すら感じさせます。



ヒント

Toneを上げると、ボーカルの「息遣い」と高域がはっきりと強調されます。

コーラルにリアルさを増すには Mod コントロールが有効です。設定値を上げると合唱のピッチや音色にランダムになり、異なるボーカルが増えた様に聴こえます。

声のフォルマント周波数は中域に集まっているため、中域が強いギターアンプに接続して強い Resonance 設定にすると効果が過剰になる場合があります。その時は Resonance の設定を Medium か Mild に下げてください。

各リバーブマシーンを使用する : SHIMMER (シマー)

SHIMMER

設定可能な2声のピッチシフト音声がリバーブ信号に追加され、煌びやかでファンタジックなサウンドを作り出します。

ピッチシフト音声はリバーブ信号から作り出され、きらめきと美しさを最大限に引き出します。

Modeパラメーターの量により、くつろいだサウンドから、本格的で壯麗なサウンドまで調整することができます。

パラメーター



Shift 1 (シフト1)

1つ目のピッチシフト音声を1オクターブ下～2オクターブ上まで28種類のピッチから選択できます。

-Octave	-Major 3rd	+Major 2nd	+Major 6th
-Major 7th	-minor 3rd	+minor 3rd	+minor 7th
-minor 7th	-Major 2nd	+Major 3rd	+Major 7th
-Major 6th	-minor 2nd	+Perfect 4th	+Octave
-minor 6th	-10 cents	+Tritone	+Octave & 5th
-Perfect 5th	+10 cents	+Perfect 5th	+2 Octaves
-Tritone	+minor 2nd	+minor 6th	
-Perfect 4th			



Shift 2 (シフト2)

2つ目のピッチシフト音声を1オクターブ下～2オクターブ上まで28種類のピッチから選択できます。オフにすることも可能です。

Off	-Perfect 4th	+minor 2nd	+minor 6th
-Octave	-Major 3rd	+Major 2nd	+Major 6th
-Major 7th	-minor 3rd	+minor 3rd	+minor 7th
-minor 7th	-Major 2nd	+Major 3rd	+Major 7th
-Major 6th	-minor 2nd	+Perfect 4th	+Octave
-minor 6th	-10 cents	+Tritone	+Octave & 5th
-Perfect 5th	+10 cents	+Perfect 5th	+2 Octaves
-Tritone			

Amount (エフェクト量)

リバーブ・サウンドに加えるピッチシフト音声のミックス音量を、オフ～最大まで調整できます。



Mode (モード)

- リジェネレーションなしの入力Shimmer
- リジェネレーションありのタンクShimmer
- 入力Shimmer+リバーブ・タンクで再生 から選択します。



INPUT

REGEN

IN+REG

Low End (ロー・エンド)

リバーブの低域を調整します。設定値が高いほど、低域が強いリバーブが得られます。



-

+

ヒント

Amount のパラメーターは、Mode パラメーターと連動して Shimmer 効果に影響します。Amount が Off に設定されていると、Shimmer 効果はゼロです。

1 オクターブ下のピッチシフト音声を選択した時、Low End のパラメーターを上げると、その音声が強く再生されます。

Modulation (Mod) は、4 層オシレーターを使用してリバーブ・タンクのディレイ・ラインにモジュレーションを加え、ピッチシフト音声とリバーブを変化させます。Mod コントロールを上げると Shimmer の効果を広げ、より心地よいサウンドが得られます。

+1 Oct と Oct.5th を選択し、Amount をあまり上げない状態から始めると、Shimmer の効果的な使い方を見つけやすいでしょう。

+1 Oct と Oct.5th を選択し、Mode を「Input」に設定すると、シンセパッドのような効果が得られます。

-10cents と +10cents を選択し、Mode を「Input」に、Mod をオフにすると、美しいディチューン・リバーブが得られます。

各リバーブマシーンを使用する：MAGNETO（マグニート）

MAGNETO

50年代後半、ギターをリードボイスとして強調する為、マルチヘッドのエコーサウンドが新たなスタイルとして生まれました。

マグニート・マシーンは、クラシカルなマルチヘッド・エコー（3、4、6ヘッド）の全ヘッドが再生している状態を再現します。Pre-Delayコントロール・ノブがフィードバックを加えます。Diffusionパラメーターは、ディレイとリバーブの境目を分けるレスポンスをコントロールし、新たなアンビエンス感を調整します。

パラメーター

Low End (ロー・エンド)

リバーブの低域を調整します。設定値が高いほど低域が強いサウンドになります。
低い設定値では、磁気メディアを使用したディレイ・マシンと同様に低域が軽減されます。



Diffusion (拡散)

リバーブの拡散成分を加えます。最小設定では効果はゼロになります。
設定値を上げると、徐々にテープヘッドが汚れ、音がにじむ効果が得られ、リバーブのような音質のリピートが生まれます。



Number of Heads (ヘッドの数)

ヘッドの数を3、4、6から選択できます。



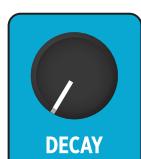
Spacing (スペーシング)

「Even」の設定ではヘッドが均等な間隔で置かれているため、全てのリピートが均等なディレイ・タイムで鳴ります。
「Uneven」ではヘッド間隔が不均一になるため、より複雑でリズミカルな効果が得られます。



KNOB FUNCTIONS (ノブの特別効果)

Magnetoでは、下記の2つのコントロールが、他のリバーブとは異なります。



DELAY TIME (ディレイ・タイム)

最後のヘッドのディレイ・タイムを設定します。



FEEDBACK (フィードバック)

Spacingで「Even」が選択されている時、最後のテープヘッドから入力に送られるフィードバックを調整します。Spacingで「Uneven」が選択されている場合は、最後の2つのヘッドからフィードバックが送られます。

ヒント

ディスプレイに表示された Decay タイムが、最後のヘッドが鳴るタイムになります。つまり Decay タイムが 300ms で 3 ヘッドの場合、Spacing で「Even」が設定されていると、100ms、200ms、300ms にディレイ音が鳴ります。ヘッドを 4 に切り替えると、ディレイ音は 75ms、150ms、225ms、300ms で鳴ります。

磁気メディアのディレイは、メディアのコンディション、機械の調整がサウンドに大きく影響しました。その結果、音の明るさの変化や、高／低域の減衰などがありました。Tone と Low End が、それらの変化を幅広く再現します。また、FeedBack (Pre-Delay ノブ) を上げると EQ のレスポンスが再生され、より広い音景と、深いアンビエントが得られます。

Mod は Wow / Flutter 効果を再現します。
眠りを誘うような搖れと、豊かさを音に加えます。

各リバーブマシーンを使用する：NONLINEAR（ノンリニア）



リバーブの定義を無視したサウンド・シェイプが、スペシャル・エフェクトや独特的な効果を作り出します。

3種の逆回転シェイプ (Swoosh, Reverse, Ramp) や「ゲート」等が選択できます。

Feedback, Late Reverb, Diffusionパラメーターを操作して、時空移動を思わせるような広がりのあるサウンドが体感できます。

パラメーター

Low End (ロー・エンド)

リバーブの低域を調整します。高い設定値では低域がフィルタリングされません。



Shape (シェイプ)

サウンド・シェイプを設定します。

Swoosh, Reverse, Rampは、全てカーブの形状が異なる逆再生サウンドです。

Gateはリニアなカーブですが、サウンドが急にカットされます。

Gaussは釣鐘形カーブで、Bounceは反釣鐘形のカーブです。



Diffusion (拡散)

リバーブの拡散成分はノンリニア・ジェネレーターでコントロールされます。

最小設定では効果はゼロになり「粒子の荒い」リバーブ・サウンドになります。

トランジエン特信号には魅了される効果が得られます。

設定値を上げると、よりスムーズで柔らかいリバーブ・サウンドになります。



Late Decay (レイト・ディケイ)

後追いして来るリバーブ (レイト・リバーブ) の減衰時間を調整します。

高い設定値では、減衰時間が長くなります。



Late Level (レイト・レベル)

レイト・リバーブの音量を調整します。高い設定値では、レイト・リバーブの音量が上がります。最小の設定値ではレイト・リバーブがオフになります。



Mod Speed (モズレーション・スピード)

ディレイのタップ間隔とレイト・リバーブのディレイ・ラインの両方を揺らすモジュレーションLFOスピードの調整です。



ヒント

ノンリニア・ジェネレーターからはレイト・リバーブに送られます。Pre-Delay はそのレイト・リバーブ部に入る前にフィードバックを加えます。そのため設定値を上げると、同じカーブでノンリニア・シェイプのサウンドが繰り返されます。

Diffusion パラメーターはノンリニア効果を和らげます。また、それは長い Decay タイム設定時に効果的です。Diffusion の設定値が高く、Decay タイムが短い場合、尖った金属的なサウンドになります。このようなサウンドを避けたい場合は Diffusion を下げてください。

短い Decay タイムにオフ(最小)の Feedback (Pre-Delay)、Shape を「Gate」に設定すると、伝統的なゲート・リバーブが得られます。

高い Feedback (Pre-Delay) に Mod を追加すると、トリップしたようなアンビエント効果が得られます。

Feedback (Pre-Delay) を最大に設定し Shape を「Gate」に設定すると、マルチタップ・リバーブのような永続的な効果が得られます。Decay タイムを 800ms、Mod を 10 時方向の設定でお試しください。

Shape を「Swoosh」か「Reverse」に設定し、Decay タイムを 100ms 以下に設定すると、スラップ効果が得られます。Diffusion を最小に設定すると、最も効果的です。

Mod コントロールはノンリニアのタップ間隔とレイト・リバーブのディレイ・ラインを調整し、さらに異なったサウンドを作り出します。

KNOB FUNCTIONS (ノブの特別効果)

Nonlinearでは、下記の2つのコントロールが、他のリバーブとは異なります。



TIME (タイム)

リバーブのタイムを設定します。



FEEDBACK (フィードバック)

ノンリニア部からのリバーブ・フィードバックの量を調整します。

各リバーブマシーンを使用する : REFLECTIONS (リフレクションズ)

REFLECTIONS

音響心理学を利用した精度の高い小空間リバーブです。部屋の中で自分とアンプの位置を移動したような効果が得られます。

選択された部屋の形状と音源位置から、250の反射音を緻密に計算して自然なリバーブを作り出します。音響心理学が人の聴覚に影響し、常識を超えたアンビエント・スペースを楽器やボーカルに効果的に加えます。部屋のシェイプによる効果の違いをお試し下さい。

パラメーター

Low End (ロー・エンド)

このパラメーターは、低域の成分と減衰の仕方に影響を与えます。表示の+側に移動すると残響時間が長く感じ、障害物が少ない部屋のリバーブになります。



Location Y (ロケーションY)

部屋の中にあるアンプ(音源)の位置を前(F)後(B)で移動できます。この位置設定によって音の反射が計算されます。

アンプが自分の前(F)にある場合、ドライ信号が反射音よりも強く聞こえます。アンプが遠く(B)にある場合、反射音が自分に到達する頃には大きくなっているため、リバーブ・サウンドがドライ信号に近い大きさになります。



Location X (ロケーションX)

部屋の中にあるアンプ(音源)の位置を左(L)右(R)に調整します。この位置設定によって音の反射が計算されます。

ドライ信号はステレオのアナログ・バッファーを通してパンニングされ、正しい位置感覚を再生します。



Shape (シェイプ)

部屋の形状を選択します。部屋の形状によって反射が異なります。

「Square」は正方形の部屋、「Rectangle」は黄金比(1.618:1)の縦に短く横に長い部屋です。「Oblong」は黄金比(1:1.618)の縦に細長い部屋です。



ヒント

Decay ノブは部屋のサイズを 100 sq ft (「Square」の場合 10 × 10 フィート、「Rectangle」「Oblong」の場合 8 × 13 フィート) ~ 1000sq ft (「Square」の場合 31 × 31 フィート、「Rectangle」「Oblong」の場合 24 × 39 フィート) の幅で変化させます。部屋のサイズが大きくなると、リバーブの減衰時間も長くなります。

Mix を 12 時方向、Pre-Delay を最小に設定すると、自然な部屋の音響になります。

低い(暗い) Tone 設定は、カーペットやカーテンなど吸音効果の高い部屋を再現し、高い(明るい) 設定は、吸音素材が少なくタイルや石製の壁、障害物も少ない部屋を再現します。

Low End の設定を下げるとき、家具が置かれたスタジオ又は一般的な部屋にいるようなサウンドが得られます。Low End を上げると、障害物の少ない空っぽのスペースを再現します。

Mod は Pre-Delay 信号にモジュレーションを加えるため、コーラスのような効果が得られます。

グローバルメニュー



グローバル・パラメーターは、各プリセットに関係なく適応されます。

BYPASS SET-UP (バイパスのセットアップ)

True Bypass (トゥルー・バイパス) と Buffered Bypass (バッファード・バイパス) が選択できます。

- **True Bypass** ではリレー回路でバイパスをするため、入力信号は他の部品を一切経由しません。
- **Buffered Bypass** では、バイパス・シグナル（入力信号）は高いクオリティのアナログ・バッファー回路のみを通過します。

**MIDI CHANNEL (MIDI チャンネル)**

MIDI チャンネルを設定します。1 ~ 16 から一つ選択してください。

**MIDI CONTINUOUS CONTROLLERS (MIDI コンティニュアス・コントローラーズ)**

MIDI CC (continuous controllers) メッセージングの ON /OFF を設定します。

**MIDI PATCH CHANGE (MIDI パッチ・チェンジ)**

MIDI パッチチェンジ・メッセージングの ON /OFF を設定します。

**MIDI THROUGH (MIDI スルー)**

ON の場合は、入力された MIDI メッセージがそのまま出力に送られます。

**BANK SCROLL (バンク・スクロール)**

スクロールする最大のバンク番号を設定します。

**EXP input mode (EXP 入力モード)**

エクスプレッションペダル、外部 TAP フットスイッチ、Strymon MultiSwitch の使用するように EXP 入力として選択します。



EXP INPUT MODE (エクスプレッション入力モード)

エクスプレッション・ペダル、又は TAP フットスイッチに使用する EXP インプットを選択します。



Dry Signal (ドライ信号)

ドライ信号のオン／オフを切り替えることができます。

この機能は、アンプのパラレル・エフェクト・ループに本機を接続する時に便利です。

- **NORMAL** - ドライ信号が出力されます。
- **KILL** - ドライ信号がミュートされます。



Spillover (スピルオーバー)

使用中のプリセットのウェット信号を、次のプリセットに切り替えた後も持ち越すかを選択することができます。

オンにすると、プリセットを切り替えた後もリバーブの残響が鳴り続けます。

注) :リバーブのバッファーの関係上、スピルオーバーを有効にするためには使用中のプリセットで 5 秒以上演奏する必要があります。

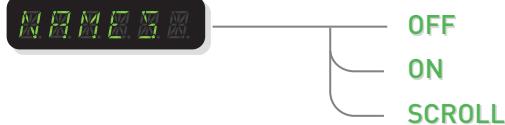


PRESET NAMES (プリセット名)

プリセット名の表示方法を変更することができます。

「ON」又は「SCROLL」の選択時、VALUE エンコーダーでプリセットを切り替えた際には、2 ケタのプリセット番号とプリセット名の最初の 3 文字が表示されます。OFF の選択時はバンク番号が表示されます。

- **OFF** - プリセットのバンク番号のみが表示されます。
- **ON** - プリセット名の最初の 6 文字が画面に表示されます。
- **SCROLL** - 16 文字のプリセット名が全てスクロールして表示された後、最初の 6 文字が画面に表示されます。



Preset Dump (プリセット・ダンプ)

MIDI を通して、プリセットのデータを他の BigSky や MIDI レコーダーに送ることができます。画面に表示されるプリセット名をスクロールしてプリセット毎に転送することも、「ALL」を選択しプリセット全部の一括転送することも可能です。



ヒント

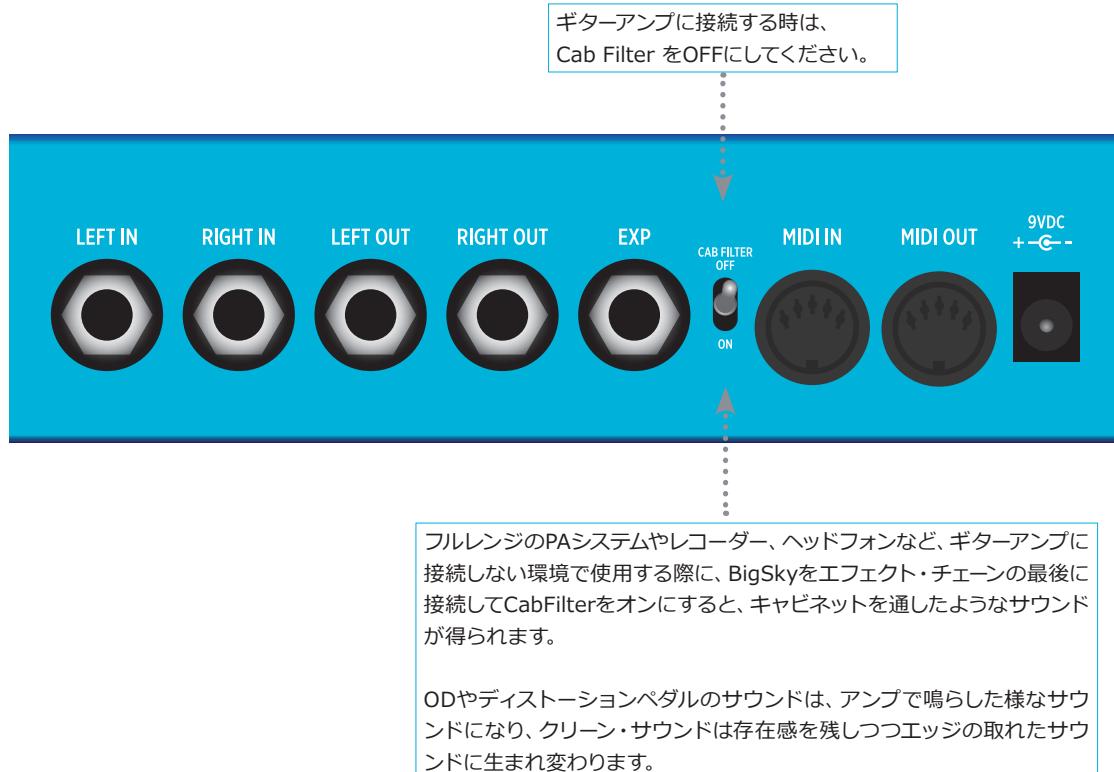
上記のオプションのいずれかが GLOBLs メニューに表示されない場合は、ファームウェアを最新バージョンに更新の必要がある場合があります。手順については、次のリンクを参照してください。

www.strymon.net/update

キャビネット・フィルター

BigSkyには非常に高精度なキャビネット・フィルター（スピーカー・シミュレーター）が搭載されています。

フルレンジのPAシステムやレコーダー、ヘッドフォンなど、ギターアンプに接続しない環境で使用する際に、BigSkyをエフェクト・チェーンの最後に接続してCab Filterをオンにすると、ギターキャビネットを通したようなサウンドが得られます。



MIDI スペシフィケーション

KNOBS	CC#	Value Range	MIDI パッチ変更
Type encoder	19	0-11	BigSkyのプリセットは、100 バンク（各3プリセット）の合計300 プリセットで構成されています。MIDI プログラム・チェンジ・メッセージを使用して切り替わります。プリセットは下記の順番でナンバリングされます。
Value encoder	20	0-1	
Decay	17	0-127	
Pre-Delay	18	0-127	
Mix	15	0-127	
Tone	3	0-127	BANK 0A = MIDI program # 0
Param 1	9	0-127	BANK 0B = MIDI program # 1
Param 2	16	0-127	BANK 0C = MIDI program # 2
Mod	14	0-127	BANK 1A = MIDI program # 3
			BANK 1B = MIDI program # 4
			BANK 1C = MIDI program # 5
			etc ...
PARAMETERS:			
Boost	23	0-60	MIDI を通してパッチ0 ~127 にアクセスする場合、通所のプログラム・チェンジ・メッセージを送信してください。
Persist	22	0-1	
ROOM - Low End	61	0-20	
ROOM - Size	59	0-1	パッチ128 ~255 にアクセスする場合、MIDI パッチ・バンク・メッセージ (CC#0) をvalue 1 で始めに送信してから、プログラム・チェンジ・メッセージを送信してください。
ROOM - Diffusion	58	0-20	
HALL - Low End	39	0-20	
HALL - Size	40	0-1	パッチ256 ~299 にアクセスする場合、MIDI パッチ・バンク・メッセージ (CC#0) をvalue 2 で始めに送信してから、プログラム・チェンジ・メッセージを送信してください。
HALL - Mid	42	0-20	
PLATE - Low End	69	0-20	
PLATE - Size	68	0-1	
SPRING - Low End	64	0-20	
SPRING - Dwell	63	0-3	
SPRING - # Springs	62	0-2	
SWELL - Low End	65	0-20	
SWELL - Rise	66	0-22	
SWELL - Mode	67	0-1	その他のMIDI CCナンバー
BLOOM - Low End	31	0-20	A footswitch 80 down=0 up=127
BLOOM - Length	32	0-17	B footswitch 82 down=0 up=127
BLOOM - Feedback	30	0-17	C footswitch 81 down=0 up=127
CLOUD - Low End	38	0-20	Press/Hold switch 97 off=0 on=127
CLOUD - Diffusion	37	0-20	Remote TAP 93 any
CHORALE - Vowel	33	0-6	Expression Pedal 100 0-127
CHORALE - Reso	34	0-2	Bypass 102 byp=0 eng=127
SHIMMER - Shift 1	25	0-27	
SHIMMER - Shift 2	26	0-28	MIDI Patch Bank 0 0-2
SHIMMER - Amount	27	0-18	Send a 0 value to access presets 0 to 127.
SHIMMER - Mode	28	0-2	Send a 1 value to access presets 128 to 255.
SHIMMER - Low End	24	0-20	Send a 2 value to access presets 256-299.
MAGNETO - Low End	55	0-20	
MAGNETO - Diffusion	56	0-20	
MAGNETO - Heads	57	0-2	
MAGNETO - Spacing	54	0-1	
NONLINEAR - Low End	44	0-20	
NONLINEAR - Shape	46	0-5	
NONLINEAR - Diffusion	45	0-20	
NONLINEAR - Late Decay	47	0-17	
NONLINEAR - Late Level	48	0-18	
NONLINEAR - Mod Speed	43	0-17	
REFLECTIONS - Low End	52	0-20	
REFLECTIONS - Loc Y	50	0-6	
REFLECTIONS - Loc X	49	0-6	
REFLECTIONS - Shape	51	0-2	

本機の主な特徴

- 12種類のリバーブ・マシーンのアルゴリズムにより、各リバーブのディテールやニュアンスまで再現しました。
- 超低ノイズ&ハイパフォーマンスのA/D & D/A コンバーターを採用しています。
- ハイエンドHifi レベルの入出力アナログ・セクションです。
- アナログ・ドライ信号バスを採用し、“0”レイテンシーのドライ信号（原音はAD されません）で演奏できます。
- 超ハイパフォーマンスSHARC DSPを採用しています。
- 300プリセットまでメモリー可能です。それらのプリセットは、エンコーダー又はメタルフットSW でリコールできます。
- 全リバーブが細部のパラメーターまでエディット可能です。
- ステレオ入出力
- エクスプレッション・ペダル入力を搭載しています。複数のコントロールを同時に遠隔操作できます。
- ライン録音やPA機器への直接接続に便利なキャビネット・エミュレーションを搭載しました。
- +/- 3dB ブースト/カットがプリセット毎に設定&保存可能です。
- プリセット切替え後もエフェクトが残る「trails (バッファード・バイパス)」が、プリセット毎に設定可能です。
- 軽量で頑丈なアルミニウム製ケースです。
- 直観的に操作可能なインターフェースを採用しています。
- トゥルー・バイパスとアナログ・バッファード・バイパスが選択できます。

スペシフィケーション

入力インピーダンス : 1Meg Ohm

出力インピーダンス : 100 Ohm

S/N : 115 dB typical

A/D & D/A : 24-bit 96kHz

周波数特性 : 20Hz to 20kHz

最大入力レベル : +8dBu

サイズ : 172mm x 130mm x 33mm (リア49mm)

電源 : 9VDC 入力 (センター・マイナス) / 300mA 必須

この度は、DAMAGE CONTROL 社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。本製品は、DAMAGE CONTROL 日本総代理店・株式会社HotoneJapanが購入後1年以内の品質保証を行っております。修理の際は、購入時の保証書（購入期日及び販売店捺印必須）を提示の上、ご購入の販売店または、お近くの楽器販売店まで御依頼ください。保証書の提示が無い場合、保証内であっても1年以内の保証の対象にはなりません。本書に記載された文章、図版は全て「著作権」及びそれに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用のみを許諾しております。